

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和05年01月05日

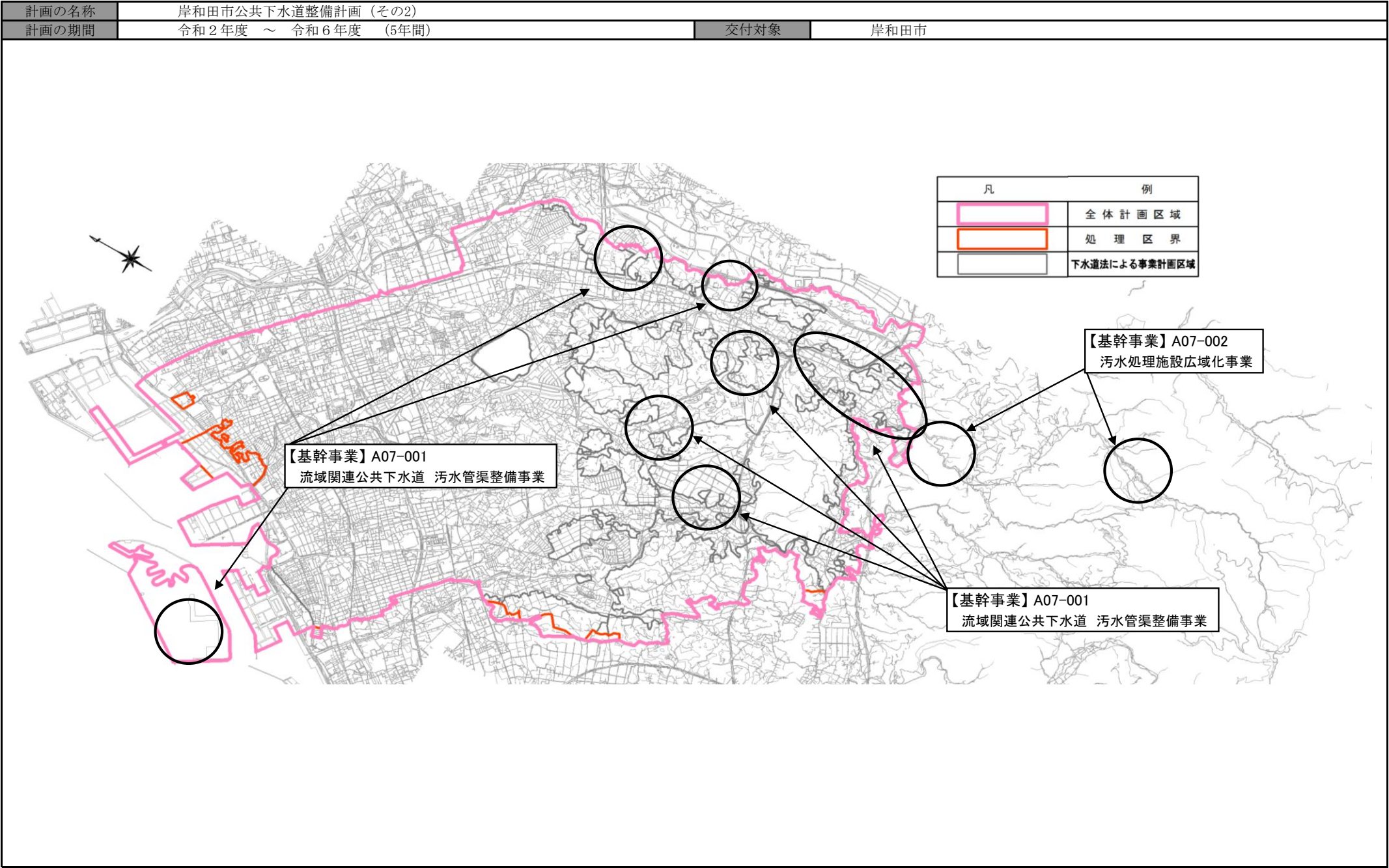
計画の名称	岸和田市公共下水道整備計画（その2）														
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	岸和田市														
計画の目標	下水道（汚水）について、快適で活力ある暮らしの実現に向け未整備区域の早期解消を行うことにより公共用水域の水質安全を図り、より安心した市民生活の確保を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		1,248	A	1,248	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R2当初）	（R4末）	（R6末）
1	・下水道処理人口普及率を95%（R2）から96%（R6）に増加させる。 下水道処理人口普及率 = （下水道処理区域人口（人）/行政人口（人））	95%	96%	96%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	
(R 2 当初) 95.7% (R 4 末) 95.9% (R 6 末) 96.4%																

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	管渠（ 汚水）	新設	流域関連公共下水道 汚 水管渠整備事業	汚水管 100～400 L=5,00 0m 計画策定	岸和田市						1,228	-	-	
	A07-002	下水道	一般	岸和田市	直接	岸和田市	管渠（ 汚水）	新設	污水处理施設広域化事業	汚水管 75～ 250 L=800 m 計画策定	岸和田市						20		-	
												小計						1,248		
											合計						1,248			

(参考様式3)



交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R2	R3	R4	R5	R6
配分額 (a)	86	99	64	43	32
計画別流用増△減額 (b)	0	△4	3	△4	4
交付額 (c=a+b)	86	95	67	39	36
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	57	35
支払済額 (e)	86	95	10	61	71
翌年度繰越額 (f)	0	0	57	35	0
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c + d - e - f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率 (i= (g+h) / (c+d)) %	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不要率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 岸和田市公共下水道整備計画（その2）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 計画の目標が『岸和田市都市計画マスタープラン』など、基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとってわかりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意	
III. 計画の実現可能性 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 2) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○

[illegible]